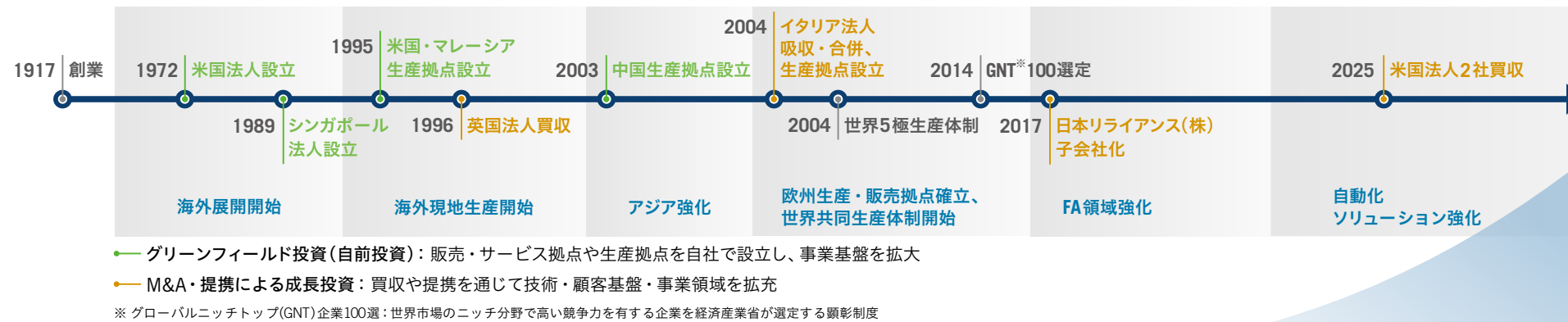


価値創造の歴史

当社は、主要顧客である日系自動車産業の海外展開に対応するため、1970年代から販売・サービス拠点の拡充、海外工場の設立、現地企業との提携、M&A等を通じて、グローバルな事業基盤を構築してきました。現在では、世界5極に生産拠点を構え、19カ国に販売・サービスネットワークを展開し、世界のモノづくりを支えています。日本で培った技術・品質を基盤にグローカリゼーションを推進しながら成長を続けてきました。今後は、自動化、DX・AI、環境対応ソリューションを通じて、お客さまの価値創造を支える「グローバル製造インフラ企業」への進化を目指します。

グローバル成長の軌跡



グローバル製造 インフラ企業へ

AIDA Growth 30

プレス機械メーカーの枠を超え、お客さまの生産現場の安定稼働と持続的な価値創造を支える

現在から未来へ、
価値創造を支える
新たな領域へ

グローバル成長を支えた取り組み

CHAPTER 1 海外展開から始まったグローバル化からグローカリゼーションへの進化

高度経済成長期を経て、自動車メーカーをはじめとするお客さまの生産拠点は世界へ広がるなか、日本国内で製造した製品を輸出するだけでは、求められる納期やサービスに 대응することが難しくなりました。当社はこの変化をいち早く捉え、1970年代以降、本格的な海外展開を推進しました。1995年以降、海外に自社工場を設立、その目的は、単に生産機能を海外へ移転することではなく、お客さまが必要とする場所で三位一体のグローバル化「生産・販売・サービス」を進めることでした。輸送負担の軽減や納期短縮に加え、現地スタッフによる保守・サービス体制強化を実現し、お客さまへの提供価値の向上に繋げてきました。こうした取り組みを通じて、日本で培った技術・品質を基盤としながら、地域ごとのニーズに応えるグローカリゼーションを推進してきました。現在では、日本品質と現地対応力を両立する世界5極の共同生産体制を構築しています。

CHAPTER 2 M&Aによるソリューション領域の拡大とローカル化から現地化へ

当社は、自社で拠点を構築するだけでなく、パートナーシップやM&Aも積極的に活用してきました。2004年の欧州のプレス機械事業の譲渡による生産拠点設立に続き、近年は、自動化・制御・搬送分野の企業をグループに迎えることで、プレス機単体から生産ライン全体を支えるソリューション提供へと事業領域を拡張しています。これらのM&Aは規模拡大を目的としたものではなく、お客さまへの提供価値を高めるための戦略的な投資です。拠点ごとのローカル化を進め、さらなる本質的な現地化を目指します。

グローバル成長によって実現した価値

	グローバル市場での 事業基盤拡大
	現地生産・現地供給による 顧客対応力向上
	プレス機械と 自動化技術の融合
	生産ライン全体の 提案力強化
	サービス体制強化による 安定稼働支援
	ソリューションビジネス拡大と 顧客価値向上

自動化ソリューション

2025 協働ハンドインダイロボット A-1Y

プレス加工に特化した協働ロボット。材料投入からプレス加工、製品取り出しまでの工程を自動化し、人手不足の解消に貢献。AI画像認識技術との連携により、安定した品質と生産性向上を支援



環境対応ソリューション

2025 蓄電池用 角形電池ケース成形専用機 DPH-80-30

EV向けバッテリーケースや再生可能エネルギーの活用を支える蓄電池の成形用に開発された横型成形機。低荷重・省エネルギーで環境負荷低減を実現



DX・AIソリューション

2025 「AIDA データアナリティクスシステム AiCARE Edge」

エッジAIを搭載したエッジコンピューティングシステムにより、成形・稼働・保全データをリアルタイムに分析し、生産現場の最適化と設備の安定稼働を支援するDXソリューション

